

事務事業名		総合的な空き家対策事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		ムトスまちづくり推進課		H28係等名		自治振興担当		H27係等名		自治振興担当	
基本計画上の位置づけ		政策 9 市民と共に進める行政経営		施策 91 市民参画による協働の促進		開始		26		終了	
目的	対象(誰・何を)	空き家		対象指標	指標名及び単位		27年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	空き家化の予防、活用・流通、管理不全対策、跡地利用の誘導による空き家の解消			空き家率(H25住宅・土地統計調査)		15				
	向上させたい上位施策の成果指標	空き家戸数(別荘、賃貸等を除く)の割合(%)									
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	空き家戸数(別荘、賃貸等を除く)		3520	3520	3600	-				
	定性目標										
事業概要	<p>空き家が適正に管理されないまま放置されると、防火・防犯、景観や生活環境の悪化等様々な問題が生じ、さらには地域コミュニティの活力低下の要因に繋がる。空き家対策は、行政、地域住民、事業者、NPO等が相互に連携して、それぞれの責務や役割を果たし、所有者に対して意識の向上や所有者としての責任に基づく行動を促していくことを軸に進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 空き家化の予防 2 活用・流通の促進 3 管理不全対策 4 跡地利用の誘導 										
27年度事業内容	事業内容				名称				活動指標		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域が創発するモデル事業の育成のため、まちづくり委員会等が取り組む事業への支援 2 窓口の一元化と職員配置(職員1名) 3 地区への出前講座 4 飯田市空家等対策計画の策定 5 空家等庁内会議、空家等検討会議、空家等審議会の開催 				<ol style="list-style-type: none"> 1 助成地区数 2 職員体制 3 出前講座件数 4 策定有無 5 開催数 				<ol style="list-style-type: none"> 1 3地区 2 27年10月から1名配置 3 3件 4 飯田市空家等対策計画を策定した 5 空家等庁内会議2回、空家検討会議3回、空家等審議会2回開催 		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		711	1,939	1,697	7,749	H26 当初予算1,042千円 補正予算1,939千円 26→27 繰越明許費 1,939千円 (国)地域住民生活等緊急支援のための交付金(空き家対策事業)(10/10)					
国庫支出金			1,500	1,697							
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		711	439		7,749						
人件費計(千円)②		2,861		2,575							
正規職員所要時間		800		720							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		3,572	1,939	4,272	7,749						
事業内容・目標達成状況の振り返り	増え続ける空家対策として、総合的な空き家対策方針の策定と空家等の適正な管理及び活用に関する条例の制定を行うとともに、モデル地区が取り組む事業への支援を行った。										
改革改善の考え方	①問題点	空家の所有者等の問題意識や危機意識が低い。空家の増加は、防災、防火・防犯、景観や環境面に悪影響を及ぼすだけでなく、地域の活力低下が懸念される。空家対策の解決に向けたプロセスやアプローチに多方面の協力と時間を要する。リニア、三遠南信時代を見据えた地域づくりの観点と新たなニーズを視野に、空家や跡地を地域資源として循環させる必要がある。									
	②改革提案	空家対策は、所有者の責任において対処すべき問題であることを基本に、行政、地域住民、事業者、NPO等が相互に連携し、それぞれの責務や役割を果たし、所有者に対しての意識向上や責任に基づく行動を促していくことを軸に進める。									